
東海風俗渡り歩き絵巻

メタかつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東海風俗渡り歩き絵巻

【ZPDF】

Z0897E

【作者名】

メタかつ

【あらすじ】

ノンフィクションです。すべて私の目線から書いているのでお店の批判ではないです。なお小説ではないです！どちらかというとブログかな？内容についての批判は出来れば遠慮してもらいたいです

第1話 FandJ

今回初投稿は我がメタカツ初泡体験について書かせて貰います。ちなみにメタカツ風俗デビューは一宮のキャンパブ（ナースです）です。

それからヘルス、ビデオパブ、覗き部屋、ストリップを渡り歩いてきたのですが何故かソープだけは行く事が無く…いや、入りづらく理由として貧乏のメタカツにはお金がない…さらにソープは敷居が高い！ 勝手に思い込んでました…眞面目にソーツじゃないと入店出来ないと思つてた！先入観とは恐ろしいものですね～

しかしソープに行きたい願望は日に日に強くなるばかり！そして風俗デビューから1年ほど遂にメタカツはベスト・オブ・フーズク、ソープランドに行く事に意を決する！

前置きはこれぐらいにして初レポート行きます。今回、初泡体験は自宅からもつとも近いソープランドに行きました。（母校の近くで昔からあることは知つていた）

お店紹介

- F andJ
- 入浴料 6000
- 地下鉄志賀本通下車、東に歩き、セブンイレブンを目印に南へ。
それから5分程歩いた所にあります。

自宅から自転車で20分程、今回の目的地 F andJ が見える。白を基調とした建物はとてもオシャレで一見ソープランドとは分からぬ程である。喫茶店と言えば喫茶店のような感じさえある。



さすがベスト・オブ・フーズク、ソープランド！その辺の安っぽいヘルスとは一味も二味も違うなとメタカツは思った。

そしてメタカツは直ぐには入店せずお店の外觀を一周する…大きさはそれほどでもないが裏にはボイラーが見える。

ボイラーを見つめメタカツは感嘆な声を上げる。

「遂に僕もベスト・オブ・フーズクソープランドに来たんだな～」

メタカツはソープランドの前で何度も笑いを浮かべたことか…周りの住民が指をさしても…犬に吠えられても気にしなかった…これから起こりうるプレイ…アイドル級美女との濃厚なプレイ…たまらなく楽しみである。そして今にも爆発しそうな性欲を抑えつつメタカツは入店する。（入るときは後ろに壁があり外の人には見られにくい工夫ありましたよ～）

「い）予約ありますか？」

入店後、店員の第一声である。メタカツは

「ありません」と言つとホテルのキーのような番号札？のような物を渡される。ここで入浴料が総額を出したかは覚えてません！…ごめんなさい！

メタカツは待合室に通されアルバムを待つ。

「さっすがにベスト・オブ・フーズクソープランド…待合室も広いな～」

待合室は黒を基調とし、豪華である。ソファーの座り心地も良く。この広さ錦のヘルスはない！メタカツはタバコを手に取ると店員がやつて来たアルバムを持ってきたのか？と思つたら店員は意外なことを口にする。

「お客様」案内です

「へ？」

メタカツは何が起きたのか分からぬ。アルバムは？選ばせてくれないの？いやいやただたんに店員が勘違いしているだけだろうと思つた。メタカツは優しく店員に言つた…とても紳士的に…

「ボーカンまだアルバム見てないですよ」

「当店では入店時にアルバム指名したいと言わないとフリーの『』案内になるんですけど…」

「はーーー！」

メタカツは絶句した。普通アルバム指名は出来るはずだ。これがソープランドのやり方？いやいやそんなことは…

「こ」で

「いいからアルバム出せー」と口ねれば良かつたのかも知れない…だが気の小さいメタカツにはそんな事は言えなかつた。メタカツは黙つて店員の指示に従う。この時はまだ希望があつた。ここはベスト・オブ・フーズクソープランドである…完全なるフリー宣言をしてもそれなりの姫がやつてくると…と。

だがこれが地獄の始まりだつたとは…

「…………」

「…………」

メタカツは絶句した。額からは脂汗がにじみ出る。メタカツの前に
は姫が立っているのだが…
姫と呼べる代物ではない

顔は朝青龍…

体は朝青龍…

胸は朝青龍…

スリーサイズは朝青龍…

キングコングと言った表現が最も適しているのかも知れない…腕か
らは僅かにウブ毛が覗く…笑っているのかも分からぬ鋭い目つき
である。メタカツは蛇に睨まれたカエル状態だと言うまでもないだ
ろう。

風俗デビューから1年…heavenのソープ特集を見るたびに心
が躍った。風俗にとつてソープは別物最高級の姫、最高級のサービ
スを受ける事が出来る…そう思っていた。メタカツの数々の妄想が
走馬灯のように蘇り、木つ端に崩れ去った瞬間である…だが逃げる
ことは許されない…

メタカツはキングコングと共に部屋に入りベットに腰掛ける。とて
も大きなお部屋である。キングコングサイズと言つてもいいだろう。

だがこの状況にはどうでも良い。メタカツは恐怖で固まっている。メタカツの緊張を察したのかキングコングは優しく話しかけてきた

「お兄さん緊張してる?」

「は、はい…」

「可愛いね～私シャイな男性大好き～今日はいっぱいサービスしてあげる…」

最悪の展開になってしまった。普通は姫にこんな事を言われたら悪い気はしないだろうだが相手はキングコングである…

思い出したくないのだがプレイの流れを書く…

まずキングコングはマットの準備。その間メタカツはお風呂で休憩。そしてマット開始…

気持ちよくなくなくただ耐えるのみである。時折キングコングの重量で息苦しくなる。キスを迫られるが拒否…

そして一回目のドッキング 不発

直ぐにベッドに移動しキングコングが

「攻めて欲しい」と言うが。

「疲れてるから」と言い拒否。キングコングを攻める勇気などありません！メタカツはマグロに徹する。そして一度目のドッキング不発

キングコングはごめんねと何度も言っていた。性格は悪くないのだが容姿が…時間がきて服着替えて終了。帰りにアルバムを見せて貰

つたが地雷多発地帯確定！

こうしてメタカツの悲しい泡初体験は終わった…ソープランドには悪魔が住む。そう感じた…もうソープランドに行くまいか…そう思つた…だが金津園に突撃した時ベスト・オブ・フーズクソープランドの良さが分かるのだがそれは別のレポートにて…

メタカツはキングコングから逃亡した時始めて地面が固く冷たいと思った。人生それ程甘くないのだ。

評価

- ・外観
- ・内装
- ・店員（どこか威圧的態度！ダメボーイです）・姫、容姿（キングコングです）
- ・姫、サービス（頑張つてくれたと思いますが…）

第2話 宇都宮ヘルス

今回のレポートは宇都宮のヘルスについて紹介します。

- ・宇都宮ヘルス
- ・60分12000円^{ぐらい}

それはそれはむかしの出来事でござります…

当時（今もですが）メタカツは一人旅なるものが好きで。良く休みの日は車で遠出しておりました大阪、東京、東北…いつも目的もなく車を走らせたものです。

男の一人旅＝風俗？……この図式はメタカツだけでしょうか？そう大抵飯を食つて風俗行つてご帰宅…です。うん女性の方なら「目的もないのに旅行して何が楽しいねん？ガソリンの無駄やろ！」…と突っ込みを入れられるかも…男性の方は分かってくれるかな～一人旅…楽しくないスか？

さあそろそろレポートいきましょうか。

今回、一人旅大好きのメタカツは宇都宮に行つてきました！…いつものようにじ当地物を食べ…宇都宮と言えば…餃子！

そう宇都宮餃子ですよねもちろん食べました！はねつき鉄板餃子食べました！うまかった！『餃子の王将』よりマイワー 宇都宮の餃子ははねつきが常識何ですかね？詳しい人居たら教えてください。

さてさて二ソニク臭くなつたメタカツは携帯で風俗店を探します…一番近くのヘルス店がありますのでそこにします。（店名は忘れました）

お店は宇都宮の駅からかなり離れたところにあります。辺りは薄暗い街頭しかなく不気味な町?のような所にポツンとひとつのヘルス店がありました。外観は…

「ボローー!」…です。看板も微妙に斜めのような…気のせい?いやいや…

1

.....

悩みました…入るべきか…だつて怪しい感じ抜群ですもの！嫌な予感が脳裏によぎります…

SXですので…しかも改造車ですので…
2、3回辺りをぐるぐる車で回りました。
勿論爆音で！車は180

そしてついにメタカツは入店を心に決め駐車場に車を止めます。数台止まつてたのを覚えていてます。入店するとボーアさんが

「予約？」

- し し え -

「うちはアルバムないけどどんな娘が好み?」

「20代で細身の子」

この時点である程度の地雷は覚悟しております。アルバム指名でき
ないお店で正直いい思い出はありません。.

あつこじでひとつ…

「細身の子」と言わなければデブが来ます!」これは美人茶屋のマスターが言つていました。

待合室は…うーん。微妙良くもなく悪くもなく。でも何かアットホームな雰囲気を受けました。トイレも借りたのですが

「きたねえ!」

「掃除してねえ!」

この時点でお店の評価は急行落!トイレ汚い店は女の子の教育しない!これメタカツの理論…

「お客様」案内になります

トイレから戻り一服していると先程のボーカーさんが来て参りました。

「……」

もうメタカツ臨戦態勢に入つてます。どんなデブがこようがネズミ小僧がこようがゴジラがこようが驚きません!これも旅の思い出と心に誓つておつます!ところが…

「……」

「……」

驚きました。メタカツの目の前には細身の(少しボチャですが)姫

が立っています。とってもカワイイ！いま思つと石原をとみに似ていたかも…
でもこの姫…

無表情…

笑わない…

挨拶なし…

サービス地雷の恐れがあります…まつ可愛いから最悪の状況は回避されました…姫の後ろをこそそと後をメタカツ。お部屋にはいると姫が勝手に服を脱いでるではありませんか？メタカツは風俗では会話も楽しみたい奴なので頑張りました。

「僕一名古屋からきたんですよお姉さんは宇都宮の出身？」

ジロリ…

睨んでます…メタカツを睨んでます！怖いです！姫は『早く服を脱げ！』と言つているのが手に取るよつにわかります。この時点でサービス地雷決定です。

「……」

「……」

あつ！今無言でシャワー浴びてます！姫は無表情でメタカツジュー
アを洗つております…
この先の事聞きたいですか？

ただ高速手口キでくのされただけです。しかも時間がたっぷり余ります。なんで大金叩いてまでこんな気まずい思いしないといけないんだ!と思つたのは眞つまでもあります。

余りの沈黙が苦しくて必死にメタカツは会話をしましたが姫は目を合わせてくれるだけで姫は喋らつてしません。

「…………」

「…………」

この時、メタカツは脳裏にあることを思い付きました。メタカツは鞄から一枚の紙を取り出し、こんな事を書き姫に渡しました。そこには「」と書いてあります。

『ひょっとして耳が聞こえないんですか?』

「…………」

「…………」

「…………」

『はい…』

姫との会話はこれだけです。これ以上は何も喋らずただ時間がすぎるので待ちました…これにてレポートは終わりです。

皆さんどう思いますか？風俗いつて障害者が来たらどうしますか？
チーンジしますか？女性の方どうでしょ…、障害者を雇つてこの
のヘルス…どう思いますか？

その時の私はね介護職についていました。一般人より障害者に対し
て理解があると思つていきました…でもヘルスについて聴覚障害者と
あつた時…本当のことを言つと不快でした…店に憤りを感じました。
そして自己嫌悪になりました…

この姫がどおいついでこの仕事をしていたのかはわかりません…
どの姫も様々な生き方、価値観を持つていて色々考えさせられるこ
とがありますが…この姫程考えさせられる姫に会つたことはありま
せん…

以上メタカツでした。

- 評価
- 外観
- 内装
- ・ お店
- ボーイ (トイレ×)
- 姫 (評価できず)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0897e/>

東海風俗渡り歩き絵巻

2010年12月24日02時20分発行